

事業番号	01 01 03	事業改善シート (26年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	消防防災航空センター運営事業				担当課	部局	危機管理部	
総合5か年計画	プロジェクト					課・室	消防課	
	施策の総合的展開	4-1 地域防災力の向上 2 消防対策の推進				E-mail	shobo@pref.nagano.lg.jp	
					実施期間	H9 ~		

1 事業の概要

目指す姿	○消防防災ヘリコプターを運用し、傷病者の救急搬送、事故や遭難者の救助、林野火災における空中からの消火活動、災害時での救助や緊急物資、医薬品の輸送等を行い、災害応急活動や広域の消防活動を通じて、県民の生命や財産を災害から守る。					
現状 (予算編成時)	○山岳・山間過疎地を多く抱え、救急・救助の需要が多く、また、林野火災への対応などヘリコプターが消防活動に果たす役割は依然大きい。 ○岐阜県及び埼玉県消防ヘリ墜落事故を踏まえ、改めて運航管理業務をはじめ安全運航体制の確保に努めている。					
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 消防組織法第30条・県地域防災計画				
	県民との協働による実施：困難					
事業内容	① 成果目標 (H26)					
	事故件数 0件：安全運航体制の継続的な確保					
	② 事業内容 (単位：千円)					
	項目	実施方法	H26事業実績			
			(当初)	(決算)	H27 (当初)	
消防防災航空センター運営事業	直接	・消防防災ヘリコプター「アルプス」の運航 大規模点検実施(5,000時間整備点検)		656,969	491,559	168,888
		合計		656,969	491,559	168,888

事業コスト	区分(単位：千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越				
	当初予算	159,086	117,538	656,969	168,888
	補正予算	-1,944		-10,992	
	合計(A)	157,142	117,538	645,977	168,888
	一般財源	157,134	117,529	613,568	125,879
	県債				43,000
	国庫支出金				
	その他	8	9	32,409	9
	決算額(B)	154,774	121,426	491,559	
概算人件費	職員数(人)	7.00	7.00	7.00	7.00
概算人件費	概算人件費(C)	57,806	57,806	57,806	57,806
概算事業費(B(A)+C)		212,580	175,344	549,365	226,694

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26			H27目標
		目標	成果	達成状況	
無事故運航の継続(事故件数)	-	-	-	-	継続(0件)

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> 消防本部等からの出動要請を受けて、95件の緊急運航(救急・救助・火災防ぎょ・災害応急活動)を実施した。 また、御嶽山噴火災害、神城断層地震等の災害において、他県消防防災ヘリとともに上空偵察、被災状況調査等の活動を行った。 安全運航と迅速な消防防災活動を行うため、県内消防本部等との連携訓練を精力的に実施した。 平成9年の運航開始以来17年間無事故運航を継続しており、平成27年度以降も無事故運航を継続していく。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 <ul style="list-style-type: none"> 山岳地域、山間地域を多く抱える本県においては、山岳遭難の救助や林野火災における空中消火などヘリコプターが果たす役割が特に大きいことから、機材の整備・点検を適切に実施することにより、安全で安定したヘリ運航の継続を行う。 新たに採用した操縦士2名の養成により、安定した通年運航体制の確保を図る。 災害発生時における応援・受援計画の検証と、計画に基づく関係機関との調整を進める。
--------------------	--